



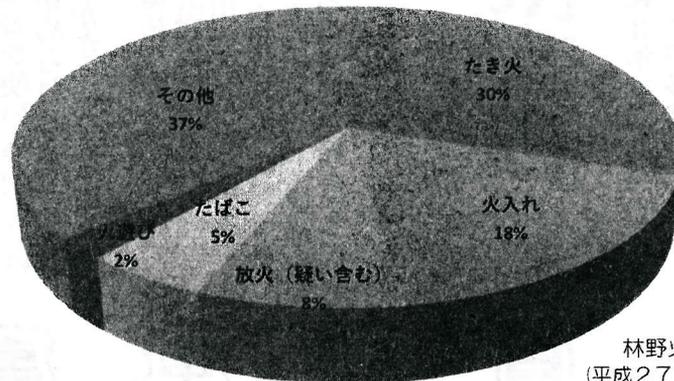
# 山火事を予防しよう！

例年、3月から5月に山火事が多く発生しています。原因として、この時期は風が強く、空気が乾燥する上に、山菜採り、登山やキャンプ等入山者が増加することが考えられます。

今年の2月に栃木県足利市で発生した山火事をご存じの方もいらっしゃると思いますが、山火事は、ひとたび発生すると消火が困難であり、付近にお住まいの方々に大きな危険を及ぼし、貴重な森林も瞬く間に焼失してしまいます。

- 「たばこのポイ捨てで枯草に火がついた」
- 「たき火が風に煽られて予期せぬところまで広がった」
- 「バーベキューの後始末が不十分で雑草に着火した」

など、山火事のほとんどは、ちょっとした不注意によって起きています。私たち一人ひとりが火の取り扱いに注意して大切な森林を守り、みんなが山を楽しめるようにしましょう。



林野火災原因別出火割合  
(平成27年～令和元年消防庁統計)

発行  
 大津市南消防署  
 533-0119  
 晴嵐学区  
 地域安全ニュース  
 晴嵐市民センター

## 【山火事予防の注意点】

- ◆強風時や乾燥している時は、たき火、火入れをしない
- ◆枯草等可燃物がある場所ではたき火をしない
- ◆たき火等火気使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する
- ◆たばこは指定されたところで吸い、吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てはしない
- ◆火遊びはしない



令和3年全国山火事予防運動 統一標語

「あなたです  
森を火事から 守るのは」